

公開シンポジウム

免疫研究が 拓く 未来医療

日時：2014年2月1日(土) 13:00～16:00(受付12:00～)

講演①「免疫研究から見えてきた新規治療の可能性」

審良 静男 Shizuo Akira | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授

講演②「抗体医薬 その可能性と展望」

服部 有宏 Kunihiro Hattori | 中外製薬株式会社 研究本部 探索研究部長

トークセッション

「免疫研究が拓く未来医療」

審良 静男 Shizuo Akira
大阪大学免疫学フロンティア研究センター
拠点長・教授

服部 有宏 Kunihiro Hattori
中外製薬株式会社
研究本部 探索研究部長

黒崎 知博 Tomohiro Kurosaki
大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授/
理化学研究所統合生命医科学研究センター グループディレクター

田口 淳一 Junichi Taguchi
東京ミッドタウン先端医療研究所所長/
東京ミッドタウンクリニック院長

加藤 ゆり Yuri Kato
タレント

元村 有希子 Yukiko Motomura
毎日新聞社
科学環境部編集委員

会場：日本科学未来館 みらいCANホール
東京都江東区青海 2-3-6 TEL:03-3570-9151

参加
無料

事前参加登録 ホームページからお申込みください。
※参加は先着順となります。満席になりましたら、ご入場ができない場合がございます。
あらかじめご了承ください。

主催 最先端研究開発支援プログラム(FIRST)審良プロジェクト

共催 毎日新聞社 大阪大学免疫学フロンティア研究センター

後援 内閣府 独立行政法人日本学術振興会

本件に関する
お問い合わせ

審良プロジェクト
公開シンポジウム事務局
E-mail: info@akira-pj.jp

ホームページ

http://www.akira-symposium.com



大阪大学

「免疫研究が拓く未来医療」

免疫を理解し操ることができれば、感染症のみならず、アレルギーやがんなど多くの病気に治療の道が拓けることでしょう。


審良プロジェクトでは、複雑な免疫機構の理解のために、様々な専門分野の研究者たちが垣根を越えて免疫学の研究者と一緒に研究し、今まで知られていなかった免疫の仕組みを明らかにしました。

シンポジウムでは、3つの視点から「免疫が拓く未来医療」を照らしてみたいと思います。まず、審良プロジェクトの4年余に渡る研究成果の中から、特に「未来医療」すなわち、次世代への革新的な治療へ繋がる萌芽としての成果をご紹介します。

次に抗体医薬の先駆けである中外製薬株式会社から、抗体医薬の実用化例や、創薬開発の今後の展望についてお話しします。

更にトークセッションにて、研究者・臨床医・企業など様々な立場の者が座を囲み、免疫研究の現状や、基礎研究から治療への実用化に向かって直面する問題点など、多様な観点から議論を進めたいと思います。

審良プロジェクトの成果から、次の免疫研究、更には革新的な治療法開発へと未来医療の希望が広がっていく様子を、是非、聞きに来て下さい。



あきら しずお
審良 静男
Sizuo Akira

大阪大学免疫学フロンティア研究センター(WPI-IFReC)拠点長・教授。
最先端研究開発支援プログラム「免疫ダイナミズムの統合的理解と免疫制御法の確立」(研究期間:2010年3月~2014年3月)中心研究者。
1984年大阪大学大学院医学研究科博士課程修了後、カリフォルニア大学バークレー校博士研究員、兵庫医科大学学生化学教授、大阪大学微生物病研究所教授等を経て2007年より現職。医学博士(大阪大学)。
研究内容は、自然免疫と炎症。過去10年間での発表論文の総引用回数、2004年以降免疫学分野で第1位である。2006年朝日賞、2009年文化功労者、2010年慶応医学賞、2011年ガードナー国際賞などを受賞。

会場案内図

会場

日本科学未来館 みらいCANホール

ホームページ

<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

会場アクセス

東京都江東区青海2-3-6

- 新交通ゆりかもめ
「船の科学館駅」下車、徒歩約5分／
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線
「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

